

会場とオンラインでの同時開催

令和8年度 医療機関デジタル化推進セミナー

医療DXが導く

参加
無料

医療機関の デジタル改革

療養型病院編



東京都では、都内医療機関のデジタル化を推進するため、医療機関デジタル化推進セミナーを開催しています。
今回は「療養型病院編」として、療養型病院を経営する現役医師より、医療DXの推進策やAIなどの最新事例をご紹介します。

開催日

2026年9月7日(月)18:00～19:30



医療法人財団 利定会
大久野病院 理事長

進藤 晃氏

「電子カルテを導入しないリスク」とは？
～実体験から紐解く、病院の働き方と経営を変えるDXの土台～

会場 東京たま未来メッセ 3階 第一会議室（東京都立多摩産業交流センター）

進藤講師
からの
コメント



本セミナーでは、「紙をデータに置き換える」ととどまらない、病院の働き方と経営を変革する医療DXの真髄に迫ります。多くの医療機関が抱える「高額」「使い勝手」「サイバー攻撃」といった電子カルテ導入への不安に対し、実際の導入時の苦労や現場の混乱を赤裸々にお伝えします。その壁を越えた先にある劇的な業務効率化、医療安全の向上、そして経営指標の可視化やAI活用といった具体的なメリットを、実例を交えて解説します。最大の焦点は「導入しないリスク」です。若手人材確保の不利やAI恩恵の喪失など、次世代の医療提供体制から取り残されないための「必須の土台」としての重要性を実体験に基づく内容で、講演させていただきます。

【経歴】1989年埼玉医科大学卒業。早逝した実父に代わり、叔父が継続していた大久野病院へ卒後4年で入職し、32歳という若さで理事長・院長に就任。当時の病院は山中にある木造2階建てであったが、「リハビリを中心とした医療を提供したい」という強い思いから建て替えを断行。当初は赤字が続いたものの、リハビリ医療の充実、品質管理の徹底、適切なデジタル化を進めることで、医療の質向上と黒字化を実現した。2011年には今後の在宅医療のニーズを見据え、閉院していた進藤医院を再開し、訪問看護や居宅介護支援、看護小規模多機能、青梅市地域包括支援センターなど幅広いサービスを展開。現在は、西多摩医師会会長を務める弟・幸雄氏とともに副会長として、医療過疎が進む西多摩地域の医療提供体制の維持に尽力している。また、日本慢性期医療協会理事、東京都慢性期医療協会会長も兼任している。

申込方法・申込締切

申込に関するお問い合わせ

2026年9月3日(木)17:00まで



【対象者】都内医療機関従事者等（職種不問）
【申込方法】専用フォームからお申込みください。
https://krs.bz/his/m/ryoyo_iryodxdigitalre9844
※会場申込者多数の場合、
オンラインでの参加に変更させていただきます。

東京都医療機関デジタル化推進
セミナー事務局
(株式会社エイチ・アイ・エス内)

電話番号 : 050-1706-0458
メールアドレス: idigital-2026@his-world.com
受付時間: 平日 10:00 ～ 17:00 (土日祝・年末年始休)

